

令和7年度名古屋大学文学部 学校推薦型選抜

試 験 問 題

第2次選考・小論文

11月27日（水）10：00～12：00

問題冊子	3 枚	（表紙を除く）
答案用紙	3 枚	
下書き用紙	2 枚	

注意事項

1. 試験開始の指示があるまで、この問題冊子と答案紙を開いてはいけない。
2. 落丁・乱丁・印刷不鮮明の箇所などがあつたら、ただちに申し出ること。
3. 答案紙それぞれの所定欄に受験番号を記入すること。
4. 解答は、答案紙の所定の欄に横書きで記入すること。所定の欄以外または裏面に書いた答案は、無効となる。
5. 答案紙にある得点記入用のボックスには何も記入しないこと。
6. 問題冊子の余白は、草稿用にしても差し支えない。
7. 試験終了時刻まで退室してはいけない。
8. 問題冊子及び下書き用紙は、持ち帰ってよい。

次の英文を読み、設問に答えなさい。

(著作権法で定められている公表された著作物を使用した
入学試験問題に該当する箇所については、本Webページ
での公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、
これを削除し、以下のとおり、出典名等を記載することと
します。)

(著作権法で定められている公表された著作物を使用した
入学試験問題に該当する箇所については、本Webページ
での公衆送信について著作権者の許諾を得ていないため、
これを削除し、以下のとおり、出典名等を記載することと
します。)

(Oreskes, Naomi "Environmental Protection Does Not Kill Jobs", *Scientific American*,
February 2024. 出題にあたり一部改変。)

(注)

air basin 大気地域

fracking 水圧破砕(地下の岩体に超高压の水を注入して亀裂を生じさせること。
シェールガス、シェールオイルの採取や高温岩体発電に使われる。)

1. 下線部(1), (2)を日本語に訳しなさい。
2. 環境保護と経済の関係として一般に語られていることと著者が実態として語っていることについて、本文に即して 200 字以内の日本語で説明しなさい。
3. 自分が関心を持っている分野について the "fallacy of the excluded middle"を犯していそうな二分法（本文の例を除く）を指摘し、なぜこの fallacy に該当すると思うのかを述べたうえで、その二分法をそのままにしておくことのデメリット（とあればメリット）を 600 字以内の日本語で述べなさい。